

# 業務部速報



No. 96

発行 23. 3. 23

JR東労組 業務部

JR東労組  
申第12号

歴史的な物価高から生活を守り、将来へのモチベーション維持・向上を実現するための2023年度賃金引き上げ等に関する再申し入れ②

これは、6360件の組合員・社員の声のほんの一部だ！  
会社はしっかりと受け止めて再考すべきだ！



## 会社回答に納得できない！

- ・多くの企業が満額回答する中、業績が回復しつつあるのに今回の回答には**納得できない**。
- ・決して1万円だったとしても納得いかないくらい。他企業と一概に比較できるものでもないが、今の会社の姿勢に**納得できない**。
- ・黒字化になったのにこの回答には正直がっかりしたしやる気を失った。社員への思いやりがない会社、ベアで偉い人だけお金を多く貰っているのもおかしいのではないかと。現場では黒字のために頑張ったのに一律ではないことが**納得できない**。定期昇給カット分もそうですがボーナスカット分も返してほしい。
- ・私たちが求めたものは一律ベアであり、今回の会社回答は所定昇給額を算出基礎としており、そのことによって差がつけられていることに**納得がいかない**。物価上昇は職責に関係なく影響は同じく受ける。また、ベアと定期昇給を合わせて平均12000円の賃上げと言っているが、それに騙されてはいけない。21春闘での定期昇給2カットもかなり大きく、今回の回答は**到底納得感はない**。
- ・満額回答ではなく、その**回答に至った理由、内容についてがはっきりしない**。なぜ満額ではないのか、今こそコロナ禍で前向きに頑張ってきた私たちに還元すべきではないか。
- ・様々な要素を勘案して最大限の回答をしたとあるが、**どんな要素で何が根拠なのかははっきりしない限り納得はしない**。
- ・目標に届いていないことを理由にベースアップを抑え込もうとしているが、社員は年次計画や経営計画に沿って黒字必達に向けて何をするのか目標を聞かれている。また、有利子負債の増を低額回答の根拠にしているが、有利子負債を増やす判断をしたのは経営側であり、それを社員に責任転嫁する回答は許せないし、**納得できない**。

## 定期昇給カットに対して

- ・遑々の支給はしない旨の回答を繰り返しているが、それならばあの年の仕事ぶりを正當に評価してもらえなかったという判断で良いのか？と思う。
- ・回答書に社員に対するこの間の苦労を労う言葉は感じられません。会社の社員に対する感謝を感じられない。頑張れ頑張れだけでは、人間には無理が生じて、いずれはガス欠を起こします。会社はもっと社員に寄り添う姿勢を見せるべき。
- ・業務量は変わっていないにも関わらず、**経営状況が苦しいからといってカットした定期昇給を黒字になった今還元されないのは納得できない**。こんな状態で労働意欲が上がるわけもないし、社員の心豊かな生活など実現出来るわけがない。日に日に社員数が減り、仕事量が増えているのにも関わらず、苛立ち、複雑な気持ちだ。
- ・定期昇給カットにより今後の会社の行く末を不安に思った社員が増えて退職に繋がっている。
- ・長い目で見た時に損した分が大きくなるので、**当時カットした分は速やかに戻して欲しい！**
- ・今の生活も苦しいが、将来の生活はもっと苦しくなる。会社は水中から上がってまだ濡れている状態だというのが、自分たちの暮らしは今でも水中です。いつになったら地上に出してくれますか？

## 歴史的物価上昇に

### 賃金が追い付いてない！

- ・賞与が削減されている中で、電気・ガス・燃料代で**ベアがあっても家計は悲鳴を上げて**いる。北国は暖房費が月4万円上がっている。6月から関東は電気代が3割値上げ。
- ・回答を見て、日々の生活においてお金が足りない。買い物に行っても支払いが3~4割増し。
- ・子供の進学を控えて苦しい、**期末手当も削減されて貯金を切り崩している**。
- ・**ベアがあっても物価高に追い付いていない**。
- ・物価上昇への影響は職責の低い社員ほど負担は大きいのしかかってくる。職責で差をつけることなく一律に支給するべきだ。
- ・生計費が上がり、住宅ローンの支払いが相当苦しくなっている。

「社員・家族の幸福の実現」を感じられない、社員を大事にしているのかという意見が多く出されています。

